

ふれあいかわまちづくり WG とは

ふれあいかわまちづくり WG は保津川右岸の河川空間の利活用方法を検討しているグループです。保津橋下流から保津峡の入り口と各支川に及ぶ広い範囲が検討対象エリアになっており、また、観光拠点である保津川下り乗船場とトロッコ亀岡駅が近くにあるため、流域の自治会をはじめとした様々な団体が参加し、各地の地理的特徴や観光振興の観点も踏まえた利活用方法を検討しています。

ふれあいかわまちづくり WG の検討内容

●対象エリアの特徴

<いこいの水辺ゾーンについて>

地域の様々な交流や市民の身近な広場空間、保津川花回廊（桜堤）のエントランス空間を創出するゾーンとして、右岸側の高水敷エリアのうち、年谷川から川上側を「いこいの水辺ゾーン」としています。

<ふれあいの水辺ゾーンについて>

亀岡観光に訪れる人々が保津川の自然や歴史文化に出会うとともに、人と人が交流する空間を創出するゾーンとして、年谷川より川下側の高水敷エリアを「ふれあいの水辺ゾーン」としています。

- ゾーン面積約 14.0ha
- 東西に細長い敷地
- 下流ほど浸水頻度が高い
- 観光拠点である保津川下り乗船場とトロッコ亀岡駅が近い



●主な検討内容

●高水敷の利活用及び維持管理方法の検討

- 各ゾーンの利活用方法、アクセス方法、便益施設の配置、整備後の運営・維持管理方法などを検討しています。

●年谷川「野橋立」(千本松)の復元

- かつて年谷川の兩岸に立ち並び、天橋立に因み「野橋立」と呼ばれていた松並木の復元に取り組んでいます。



●保津川花回廊(桜堤)の整備

- トロッコ亀岡駅やJR亀岡駅からの観光客や一般市民の歩行者経路となる保津川の堤防上に花回廊を整備しています。



開催経過

●平成 23 年度

第 1 回(平成 23 年 11 月 2 日)

- 河川利用にあたっての基本的事項 ● 河川の利活用の事例紹介
- 亀岡市の現況について ● 意見交換 (会議形式)

第 2 回(平成 24 年 11 月 25 日)

- 今後のかわまちづくり計画の進め方について ● これまでの各 WG での主な意見の紹介
- 意見交換 (WS 形式) ● 今後の進め方について

第 3 回(平成 24 年 3 月 2 日)

- 前回の振り返りと今後の進め方 ● 年谷川「野橋立」(千本松)の復元計画について
- 「保津川花回廊(桜堤)」の整備計画について ● 意見交換 (WS 形式)

●平成 24 年度

第 4 回(平成 24 年 8 月 28 日)

- これまでの経緯と今後の進め方 ● 地域主導型公共事業について
- 基本計画(案)について ● 意見交換 (WS 形式)

第 5 回(平成 24 年 12 月 17 日)

- 前回の振り返り ● 基本計画(案)について ● 運営・維持管理について
- 現地視察 ● 意見交換 (WS 形式)

WG 長会議(平成 24 年 12 月 27 日)

- 各 WG の開催状況報告 ● 意見交換 (WG 相互調整事項の確認、高水敷利活用の方向性等) ● 桂川クリーン大作戦への参加について

WG 長会議(平成 25 年 2 月 13 日)

- 前回の WG 長会議の振り返り ● 保津川かわまちづくり全体計画(案)について
- 意見交換 (会議形式)

第 6 回(平成 25 年 2 月 17 日)

- 前回の振り返り ● 右岸基本計画(案)について ● 他の WG の検討状況について
- 運営・維持管理について ● 意見交換 (会議形式)

今後の予定



